

2024年2月28日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス（JPRS）

JPRSの高松百合が APTLD の理事に再任

株式会社日本レジストリサービス（以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹）は、同社の高松百合が、アジア太平洋地域の ccTLD[*1]レジストリの連合組織である APTLD（Asia Pacific Top Level Domain Association）の理事に再任されたことを発表しました。高松は、2026年の年次総会まで、2年間の任期で理事を務めることになります。

APTLD は 1998 年の発足以来、ドメイン名やレジストリ運用に関する議論、情報交換、ICANN[*2]を始めとするインターネット関連組織への提言などを通じ、アジア太平洋地域の ccTLD の発展に寄与する重要な役割を担い続けています。現在、49 の ccTLD レジストリが正会員となり、25 のドメイン名関連組織が準会員となっています。

特に、ICANN が 2009 年 11 月から募集を開始した IDN ccTLD の導入に向けたプロセスは、JPRS が APTLD での議論を先導し、それを APTLD としてまとめた上で AP（アジア太平洋）地域外を含む関係団体の支持を受け、ICANN 全体に提案されたものです。この提案は、国際化ドメイン名[*3]（以下、IDN）の世界的な普及に向けたきっかけとなり、APTLD の大きな成果の一つとなっています。

高松は、2012 年より会合における発表や議論への参加を通じて APTLD の活動に貢献してきました。2022 年に APTLD の理事に就任してからは、APTLD 会合でのセッションモデレーターや進行役を務めた他、APTLD の今後の活動方針に関する声明文を検討するワーキンググループに参加し、積極的に議論に参加しました。

今回の APTLD 理事への再任は、高松のこれまでの APTLD への貢献が評価されたものと考えます。

JPRS は今後もネットワークの基盤を支える企業として、日本のみならず、アジア太平洋地域と、グローバルなインターネットコミュニティに一層貢献できるよう、更なる努力を続けていきます。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000年12月26日設立。JPRSはネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■用語解説

*1. ccTLD (シーシーティーエルディー)

Country Code Top Level Domain の略称。

国や地域ごとに割り当てられたトップレベルドメインです。日本を表す「.jp」などのドメイン名がこれに当たります。

*2. ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

ドメイン名、IP アドレス、プロトコル、ルートサーバーなどのインターネットの基盤となる資源に関する調整を行うために、1998年に米国で設立された民間の非営利法人です。

*3. 国際化ドメイン名 (Internationalized Domain Name : IDN)

「日本語.jp」のような英数字以外の文字が含まれるドメイン名を「国際化ドメイン名 (IDN)」といいます。国際化ドメイン名では漢字、ひらがな、カタカナ、ハングル、キリル文字、アラビア文字など、世界中のさまざまな文字を使用できます。

■参考 URL

1. APTLD Board

<https://aptld.org/about/board/>

2. APTLD (Asia Pacific Top Level Domain Association)

<https://aptld.org/>

3. ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

<https://www.icann.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス（JPRS）広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館
